

浅間哲平 演習室

ヨーロッパ文学から見る商業

講師 浅間哲平

1. 研究内容

この演習では、ヨーロッパの文学作品を読んでいきます。あつかう対象は主にフィクションですが、商業や経済とかかわるものを選びます。近代の文学は社会のなかで個人がどのように活動しているかを克明に描くことを目指しましたが、当然、商業・経済も重要なトピックになっています。

いくつかの文学作品を読み、商人や経済人とはいかなるものかを考えることを目標にします。また、その考えを共有できるように論理立てて説明することを目指します。文学作品を読み、皆で議論することで、思考力、表現力、論理力を高めるようにします。

また、美術館や劇場、映画館に行くなどの課外活動をとまなう課題を出すこともあります。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期はウィリアム・シェイクスピア『ヴェニスの商人』、ダニエル・デフォー『ロビンソン・クルーソー』、そしてジョン・ラスキン『この最後の者にも』を読みます。関連する評論も紹介します。秋学期はオノレ・ド・バルザックの金融をあつかった小説を何編かとりあげます。英語圏・仏語圏の作家が書いた文学作品ですが、日本語訳で読みます。

《3年次》

春学期は参加者の関心に合わせた小説を読みます。秋学期には春学期の内容を踏まえて各自がテーマを決め、論文を執筆します。

《4年次》

春学期に論文完成を目指します。秋学期は執筆した論文の合評会を行います。

*参加者の人数・希望により、ゼミの進行予定が変更されることがあります。

3. 教材

〈教科書〉

シェイクスピア『ヴェニスの商人』（新潮文庫）

デフォー『ロビンソン・クルーソー』（河出文庫）

ラスキン『この最後の者にも』（中公クラシックス）

バルザック『金融小説名篇集』（藤原書店）

〈参考書〉

その都度指定します。可能な範囲でプリントを準備します。

4. 成績評価の方法

演習への寄与（50パーセント）

課題（50パーセント）

5. ゼミ入室試験（選考方法）

Oh-o! Meiji グループの概要欄を見てください。

6. その他・志願者へのメッセージなど

大学生でいる間に一冊でもよいので「長い」小説を読むことをお勧めします。読書によって得られるのは特殊な知識やある種の論理力だけではありません。小説をとおして今の自分とはことなる人生を疑似体験し、多様な価値観を養ってほしいと思っています。これから生きていくなかで大きな財産になると確信しています。

私は以上のような読書体験を教授するというよりは、共有する場を提供したいと考えています。